

## 資料の見方について

## ○資料 1 「地域協議の進捗状況等について」

- ・ 7つの地域ブロックごとの地域協議の進捗状況です。
- ・ 各地域において、統合検討委員会や統合準備委員会に進んだ組合せがあり、統合に合意が得られた組合せが4つあります。

## ○資料 2 「八橋小、寺内小の1歳から12歳までの年齢ごとの児童数（令和4年5月1日現在）」

- ・ 表の左側が各小学校の現在の小学1年生から6年生までの児童数、そして右側が1歳から6歳までの未就学児の数です。
- ・ 八橋小を例にすると、表の上段は、令和4年5月1日現在、八橋小に在籍している児童数であり、下段は、八橋小の地区内に実際に居住している児童数となります。
- ・ 八橋小には、小学6年生69名が在籍しておりますが、実際には、八橋小地区内に65名の児童がいるため、 $69 \text{名} / 65 \text{名}$ で、増減率が1.062となります。率は毎年変わりますが、右側の未就学児の推計値については、直近の小学校1年生の率をかけて算出しています。
- ・ 同じように、寺内小学校の年齢ごとの児童数を算出しています。

## ○資料 3 「八橋小、寺内小の児童数の将来推計」

- ・ 資料3は、資料2に記載した6年後の2028（令和10）年までの児童数の推移と見込みをグラフ化したものです。
- ・ 青い折れ線は、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計を基にしています。
- ・ 赤い折れ線は、資料2に記載している2校の児童数の将来推計を基にしています。
- ・ 緑の折れ線は、2022（令和4）年度までの実績です。

## ○資料 4 「学校施設の現状と学校規模シミュレーション」

- ・ 資料の上段には、八橋小、寺内小の2校の現在の校舎と校地の状況として、校舎や敷地面積のほか、もっとも古い建物の建築年度等を比較できるようにしています。
- ・ 学校の規模については、令和4年度の実児童数と資料2の未就学児の推計を基に、統合した場合の合計児童数のほか、学年ごとの学級数について、令和5年度から10年度までの推計をしております。仮に、今年度の児童数で想定した場合、2校全体で718人となり、各学年4学級から5学級、特別支援学級を含めて合計31学級程度となります。